



唐詩選畫本

五言絕句

三





左掖梨花 丘葵  
 冷艷全欺雪 餘香乍  
 入衣 香風且與定 歛  
 向玉階飛

此詩云云... 左掖梨花... 丘葵... 冷艷全欺雪... 餘香乍入衣... 香風且與定... 歛向玉階飛...

唐詩選 卷之... 丘葵...







むやうりくしてまゆみんこほりやりくしてふそくかろく  
そくちんそくくことまららりんんりあどあせりす  
これハそくのせのからまきこのたひえひやうくとひろきおもひこもち  
人けりもたう、まろく之成とてあひまをせもるらん人もすくたもるゆ  
い拓よりぬあけてまゆみんこほりやりくしてふそくかろく



平蕃曲

劉長卿

渺々成烟 孤茫々 塞艸枯 隴頭那 用閉萬 里不防 胡





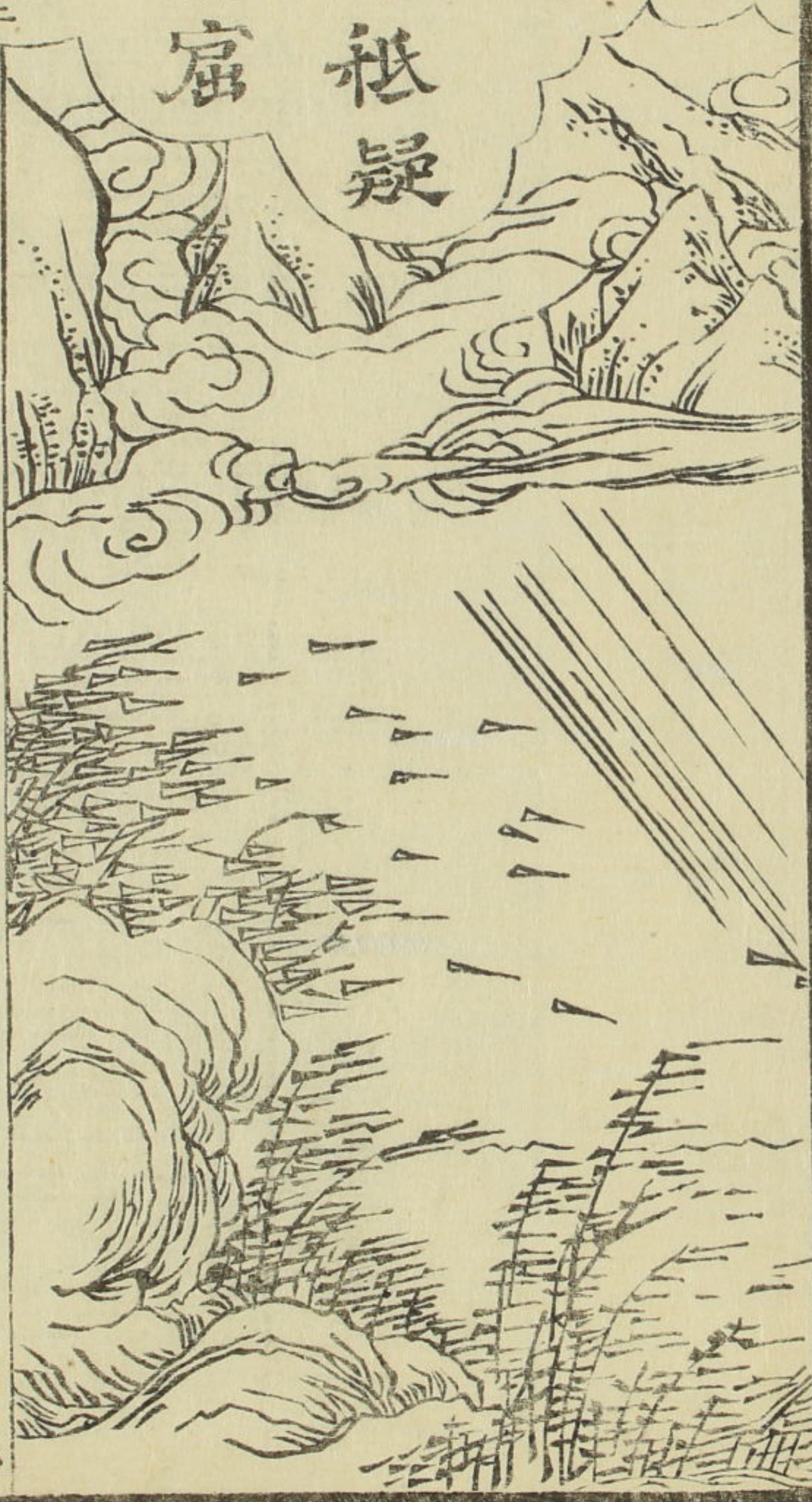




江行爽ひ題ひ咫ひ咫ひ秋風



雨匡 廬不 可登 祇疑 雲霧 窟 猶有 六朝 僧



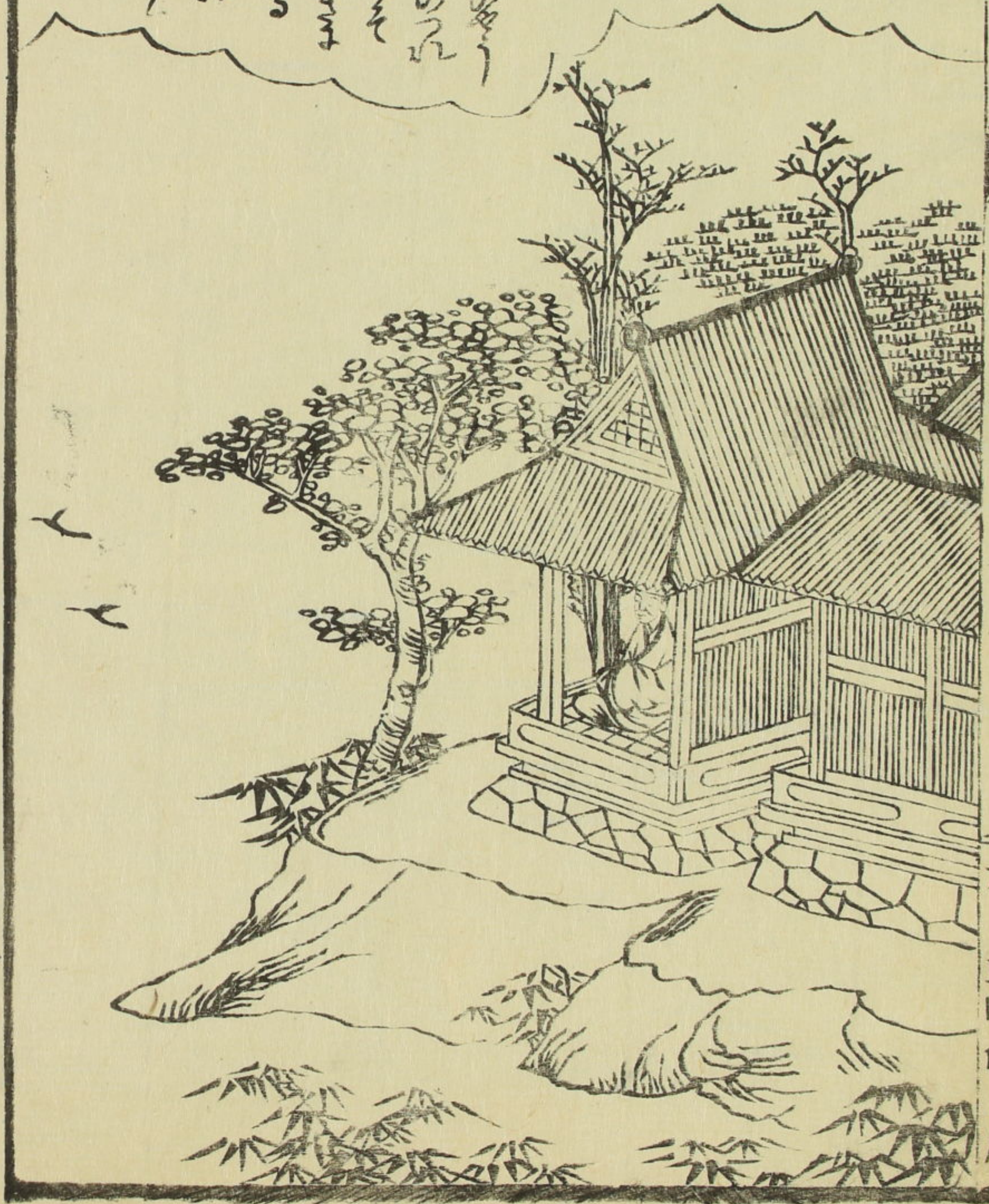
志世のつちあもあ〜〜のそ〜あ〜  
 山ハ、まゝのつちあもあ〜〜のそ〜あ〜  
 つつし、まゝのつちあもあ〜〜のそ〜あ〜  
 ろ、まゝのつちあもあ〜〜のそ〜あ〜  
 こ、まゝのつちあもあ〜〜のそ〜あ〜  
 ち、まゝのつちあもあ〜〜のそ〜あ〜  
 ら、まゝのつちあもあ〜〜のそ〜あ〜





雁を聞え

こゝろんびり  
とーしていつ  
のまゝそ  
きーすわん  
ゆーき  
うまふい  
かんき  
うのま  
こー



こゝろの  
まゝ  
あー



あつた漸何やと海魚の修哉  
浪の舟新の物高る舟中の舟も来

二そとまにいかうぶつぐいんんのまてらるるのちるり秋のよのまひーた子  
こまうゆーとちうひりぐーんやれとゆまらとていつことあてこまら  
うりいといとちうふかも又うぎりるまいるん秋のまのまひーまら  
かーたうのまらうりていあしあれとまらとるり廣解らじ





題竹林寺

朱放

寺在竹林中  
山色有无中  
竹色溪光绿  
山色有无中



この山かすまをとも  
あつくおもしむを  
ふあはれ移んあろま  
うく寺のゆき  
をそそとくま  
そへらるるま  
をかりか  
とまのりけち

多詩選



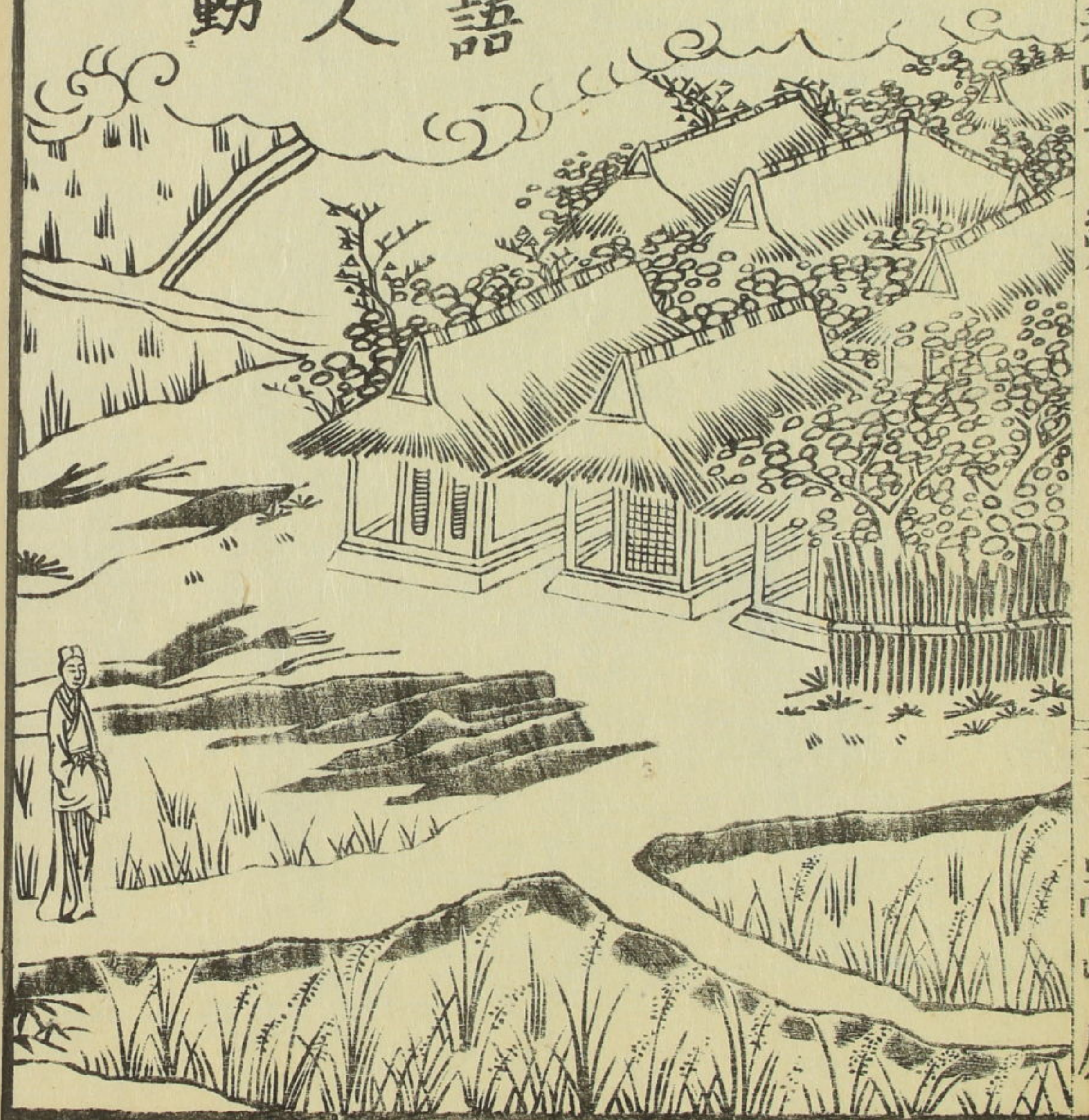
歲月人間促烟霞此地多  
殷勤竹林寺更得幾回過

せのらにんりんちるるまんうあのおおなりん  
きんよとちるるまんうあのおおなりん

秋 日 耿 漳

返 照 入 閭 巷 憂 來 誰 共 語

古道少人行 秋風動禾黍



返照入閭巷 憂來誰共語  
古道少人行 秋風動禾黍







別盧

秦卿

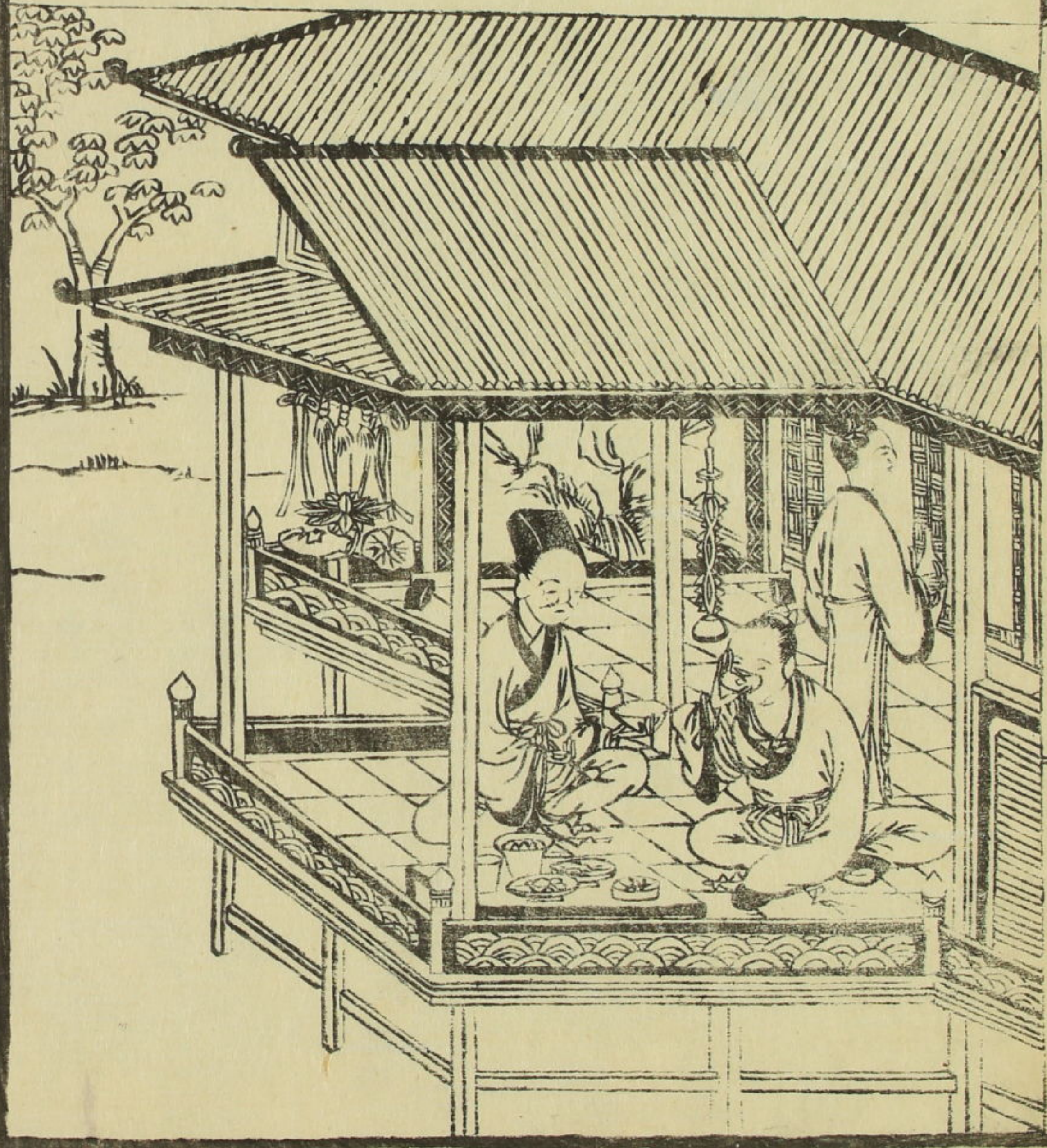
司空

曙

知有前

期在難

分此夜



中無將

故人酒

不及石

在風

せんきのあゝあるをまらぬ  
ワルレハ人の心のつら  
一ハのまけをまつてせき  
いふやうにふちをさす  
まへにふるふとていふ  
いあふとさうつこつひろ  
さうれつこつさうさけ  
てそのつてつかりとて  
あーちさんともめてもか  
つてつてつてつてつて  
あらまいたつたをさつ  
のまけあつてもおれ  
ぬつてつてつてつて  
あつたはつたはつた  
あつたはつたはつた  
あつたはつたはつた





幽州

李益

征戍在桑乾 年々 薊水寒 殷勤 驛西路

此 太 向 長 安

この詩は幽州の桑乾川にありて、  
年々、薊水寒、殷勤、驛西路、  
此、太、向、長、安、  
此の詩は幽州の桑乾川にありて、  
年々、薊水寒、殷勤、驛西路、  
此、太、向、長、安、



らんやちかぬてつきすらん... おろり...  
そのこころをたまらぬたぬやあり...  
これぞうれしき...  
ちのすつといは川...  
又は川の...  
ちのそや...

況湖涼ふ巻子能河

涼々暮秋風如暮雨

楓樹林

加藤多助



張家村

因田富治郎

唐詩發書本

[Redacted area]

因田富治郎

